

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2021年1月9日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、斎藤慎太郎 與猶茉穂（気象予報士）		
検証テーマ：1月緊急事態宣言後初の週末、オープニング、4月緊急事態宣言との比較 相撲界にもコロナ影響、ワクチンを打って戦うアメリカの日本人看護師 朝鮮労働党の党大会、アメリカの政治情勢、神奈川県 of 自宅療養男性の死亡で黒岩知事が謝罪 【特集】二度目の緊急事態宣言、【特集】台湾のIT担当大臣独占インタビュー コロナ感染者と死亡者		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・1月緊急事態宣言後初の週末 ・オープニング ・4月緊急事態宣言との比較 ・相撲界にもコロナ影響 ・ワクチンを打って戦うアメリカの日本人看護師 ・日本海側の大雪が今日も続く ・朝鮮労働党党大会 ・アメリカの政治情勢 ・神奈川県 of 自宅療養男性の死亡で黒岩知事が謝罪 ・【特集】二度目の緊急事態宣言 ・【特集】台湾のIT担当大臣独占インタビュー ・スポーツ特集 ・コロナ感染者と死亡者 		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・1月緊急事態宣言後初の週末：結論→特に問題なし 1月緊急事態宣言後の初の週末について以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。 "ナレ「首都圏に二回目の緊急事態宣言が出されて初めて迎える週末。新型コロナウイルスの新たな感染者の発表は今日も東京で2268人にのぼり、3日連続で2000人を超えました。参考となる3日前の検査件数は13600件ほどで検査お受けた人の内、感染が判明する人の割合、陽性率も非常に高い水準です、全国では今日これまでに兵庫で4日連続で過去最多となった他、静岡、岐阜、三重、長崎、などで過去最多となる感染発表が相次いでいます。」 吉村洋文(大阪府知事)「あの、本日、大阪府、京都府、そして兵庫県で国に対して緊急事態宣言の発令の検討してもらいたいという要請を致しました。」 ナレ「大阪、京都兵庫の三府県の知事は今日午後、新型コロナウイルスの感染者が急増していることを受け、西村経済再生担当大臣に緊急事態宣言を出すよう要請しました。」 吉村洋文「なぜこういうふうな増加になっているのかの分析も踏まえてですね、来週の末ぐらいまではもう少しこの増加の分析、これを国の専門家としてする必要があるということのご意見ということでした。」 ナレ「三府県では一日の新規感染者の数が最多となるなど、医療体制の逼迫が深刻化し、医療崩壊の恐れがある 		

としていますが、政府からは来週末頃まで感染者数の分析をする必要があるという意見が示されたということです。」

西脇隆俊(京都府知事)「医療の逼迫度合いについては非常に厳しい状況にあるという話はまあ大臣にはさせていただきますので。」

井戸敏三(兵庫県知事)「四日間連続最多になった、国の検討をできるだけ急いでいただいて、宣言を出して早く出していただくように。」 "

"ナレ「一方、陽性を受けた西村大臣は、」

西村康稔(経済再生相)「緊急事態宣言の対象にこの三府県を加えることにつきましては感染状況の分析、それから病床確保の強化こういったことをですね、三知事と状況を確認をしながら専門家の意見を来て、国において検討をしていくということにしたいと思います。」 "

"河野俊嗣(宮崎県知事)「国民に危機感が伝わっていないのではないか、という思いがしています、春や夏の頃と比べるとまだまだゆるいのではないかとするような思い出子お区民に受け止められたちではないか。」

鈴木英敬(三重県知事)「特措法感染症法、これを早期改正迅速成立というのが大事だと思います、緊急事態宣言をせっかく発出したのに、実効性が担保されていなかったら意味皮無いわけであります。」

ナレ「首都圏での緊急事態宣言を受け、全国知事会は今日、国への緊急提言案をまとめました、時短営業や休業の要請に実効性を持たせるため補償や罰則の規定を盛り込んだ特措法の改正を急ぐことや首都圏以外にも感染が拡大した地域には緊急事態宣言を迅速に出すよう、政府に求めました。」 "

このトピックについて当てられた時間は 215 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・オープニング：結論→特に問題なし

番組の冒頭で金平キャスターが「金平茂紀「世界の中でもコロナ対策がかなりうまく言っているのは台湾です、台湾の IT 大臣オードリー・タン氏は私たちが見慣れているあの日本のリーダーたちとは違って明晰かつ柔軟な判断力を示してくれています。日下部キャスターの単独インタビュー、特集でお伝えします。緊急事態宣言の意味を考えるヒントにもなります、ぜひご覧ください。」とコメントしていた。

このシーンについて当てられた時間は 24 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・4月緊急事態宣言との比較：結論→

膳場キャスターの「ではニュースです、緊急事態宣言に伴う外出自粛や時短要請の効果は大幅に薄れているのでしょうか。」とのコメント、日下部キャスターの「昨夜、東京の繁華街の人出は前回4月の宣言直後と比べて倍以上の地点があることがわかりました。」とのコメントを受けて、VTRとともにナレーションによって「緊急事態宣言が発表された東京神奈川埼玉千葉では昨日から飲食店の営業を午後8時までに短縮することや午後8時以降の外出自粛などが要請されています、昨日金曜夜9時の先月最後の金曜日と比べると一部で増加が見られたものの東京渋谷で6割以上減るなど多くの地点で減少していました、しかし前回、去年4月に緊急事態宣言が出された直後に比べると同じ金曜夜の繁華街で昨日は大きく増えていたことがわかりました、新宿歌舞伎町や新橋で7割前後、銀座や原宿では2倍以上も増加するなど外出自粛や時短要請の効果が4月当時と比べ大幅に薄れていることがわかります。」と伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 72 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・相撲界にもコロナ影響：結論→特に問題なし

VTR が取り上げられるとともにナレーションによって「相撲界に影響です。日本相撲協会は協会員全員が行った PCR 検査の結果九重部屋の幕内千代翔馬ら新たに 5 人の力士が陽性反応を示したと言いました、この結果を受け濃厚接触の可能性のある九重部屋と友綱部屋の力士全員、既に感染者が確認されていた横綱白鵬が所属する宮城野部屋と荒汐部屋の力士については感染の有無に関わらず 1 月場所を休場することとなりました、これで怪我で休場する横綱鶴竜を含め、併せて 16 人の関取が初日から休場する事態となりました。」

このトピックについて当てられた時間は 44 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ワクチンを打って戦うアメリカの日本人看護師：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「新型コロナの感染者が 2000 万人を超えるアメリカでワクチンの接種を受けた日本人が損胸の内を語りました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。
"尾関淳哉(報告)「ワクチン接種が行われているこちらの公園では順番待ちの列がおおよそ 300 メートルに渡って続いています。」

ナレ「感染拡大が止まらない西部カリフォルニア州、ロサンゼルスでは公園にもワクチン接種の会場が設置されています、8 日の午後、この列に地元のクリニックに勤める日本人の看護師が並んでいました。副作用への不安から迷った末の一回目の接種です。」

大山のりこさん(看護師)「とてもあの、ドキドキしました、緊張しました、色々副作用とかきいておりましたので、あの、怖かったです、」

ナレ「ロサンゼルスでは ICU 集中治療室の空きが 0%の状態が続き、医療体制がひっ迫しています。」

大山のりこ「怖いですね、私自身も怖いですがけれどもそれに戦っていかないと医療現場うまくいきませんので、そのためにも私がワクチンを打って、改善に迎えるように今日来ました。」

ナレ「過酷さを増す医療現場はこうした葛藤にも支えられています。」

このトピックについて当てられた時間は 86 秒で放送法上は特に問題は見られなかった

・朝鮮労働党の党大会：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「北朝鮮メディアによりますと平壤で開催中の朝鮮労働党大会で金正恩党委員長がアメリカ大統領選後はじめて対米政策に言及し、アメリカ新政権との関係改善も示唆しました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

ナレ「**今月 5 日に始まった党大会での活動報告でキム党委員長は『アメリカ最大の敵で制圧、屈服させねばならない』とアメリカ大統領選後初めて対米政策に言及、今後の米朝関係については。**

磯崎敦仁(慶応大学准教授)「新たな米朝関係樹立の鍵はアメリカが対北朝鮮敵視政策を撤回することにある、つまり譲歩するのはアメリカ側であって北朝鮮ではないということ、『アメリカの態度いかんによっては米朝関係、まだ動くんだ』ということを示唆はしている。」

ナレ「**また、核兵器の小型化軽量化を進めミサイル開発では射程 15000 キロ、アメリカ全土を射程とする攻撃能力の強化や多弾頭技術の開発を進めるほか、原子力潜水艦を保有する計画にも言及。経済では昨年の台風被害や世界的なコロナ禍の長期化が経済発展を妨げたと分析しています。」**

このトピックについて当てられた時間は 81 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカの政治情勢：

膳場キャスターの「アメリカの連邦議会 6 日、トランプ大統領の支持者らが押し入り、5 人が死亡した事件、

アメリカのツイッター社はトランプ大統領のツイッターについて暴力をさらに煽る可能性があるとして、永久停止にしました。」とのコメントを受けて VTR が取り上げられるとともに、ナレーションによって「トランプ大統領の支持者らが連邦議会に乱入したことを受け、ツイッターは 6 日、トランプ大統領のアカウントを一時凍結してました、しかし凍結の解除後、トランプ大統領は『私に投票した愛国者は長い将来に渡って、声を上げ続けるだろう』、『20 日のバイデン次期大統領の就任式にしない』などと投稿、ツイッターは 8 日、さらなる暴力行為を煽るリスクがあると判断し、トランプ大統領のアカウントを得急に停止にしました、これを受けてトランプ大統領は声明を発表し、『ツイッター社は言論の自由を益々禁止しようとしている』と批判、その上で近い将来、『独自のプラットフォームを立ち上げる可能性を検討している、我々は沈黙しない』と協調しました。一方、野党民主党はトランプ氏が支持者等による連邦議会での暴動を扇動したなどとして 11 日にも連邦議会下院にトランプ弾劾訴追する決議案を提出するとしています。弾劾訴追は下院で成立する可能性があると思われていますが、上院で弾劾が決まるかは不透明な情勢です。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 92 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・神奈川県の自宅療養男性の死亡で黒岩知事が謝罪：結論→特に問題なし

日下部正樹「神奈川県の黒岩知事は新型コロナウイルスに感染して自宅で療養中だった男性が死亡したことについて謝罪しました。」

"黒岩祐治(神奈川県知事)「県としてやれることをやりきれなかったことについては心からお詫びを申し上げたいと思います。」

ナレ「新型コロナの感染が判明したあと自宅で療養していた 60 代の男性が死亡した問題で黒岩知事は今日、県の対応は十分ではなかったと認め、謝罪しました。県の職員に依るデータ入力に漏れがあったため、死亡した男性に対する安否確認の電話などができていなかったということです。入院できない感染者らの容態を把握する体制について黒岩知事は感染爆発の状態で現状の体制では限界だとして人員を補充する方針を示しました。」

このトピックについて当てられた時間は 57 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】二度目の緊急事態宣言：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「特集です。2 度目の発令となった 緊急事態宣言。政府がまず求めたのは、飲食店の営業時間の短縮ですが、打撃は店だけでなく、仕入れ先である地方の生産地にも広がりつつあります。現場取材しました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような特集の VTR が取り上げられていた。

ナレ「2 度目の緊急事態宣言が出されたおととい、時短営業を迫られた飲食店を訪ねた。」

日下部「ちょっと、開店前だけどちょっとお邪魔させていただきます。こんにちは。高橋さんどうもお久しぶりです。本当に。」

ナレ「東京・四谷で 55 年続く太平山酒蔵総本店。秋田の郷土料理を売りにしている。」

ナレ「人気のきりたんぼ鍋。秋田から仕入れた 比内地鶏やセリを使っている。」

日下部「ぜったいこれはやっぱり、」

店主「必需品です」

日下部「秋田のものじゃないとだめなわけですね。」

店主「ダメ」

日下部「秋田の味は出せない？」

店主「出せない。もうこれ絶対必需品。これとこれはもう。鍋、うちのきりたんぼ鍋にはもう、絶対欠かせない

ものなんですね。」

ナレ「この店は去年4月の緊急事態宣言の時も休業要請を受け、一か月半ほど店を閉めていた。」

日下部「2回目のね、非常事態宣言というのはあると思ってましたか？」

店主「いえいえ、全然思いませんよ。」

ナレ「午後6時、菅総理の、会見が始まった」

菅総理（テレビ）「今回の宣言にあたり飲食店については、20時までの時間短縮を徹底します。」

日下部「どんな思いで、総理の会見を聞いてましたか？」

太平山酒蔵総本店 高橋幸夫社長（73）「反省がないですね。全然。1年間ほっといて、ほっといて、じゃあ大変なことになったから今それを反省します。何もやってないよ。それでさ、なんていいますか協力しろだの言っただけ、」

日下部「前回に比べて、なんか高橋さん怒っていらっしゃいますよね。」

太平山酒蔵総本店 高橋幸夫社長（73）「それを怒りますよね。いきなり飲食禁止なんて言われたらね。何だっていつも最初はターゲット。そのさ次、夜8時までやってくれ。もう大体見れば、飲食店を営業できないことを分かってて言って、」

ナレ「売り上げは例年の半分以下に落ち込んでいるが、夜8時までの時短要請には応じるという。せめてもの思いで、開店時間を午後4時に1時間早めることにした。」

ナレ「時短営業に協力した店舗には、今回東京都から1日6万円を上限に協力金が支払われるが、」

太平山酒蔵総本店 高橋幸夫社長（73）「あの6万円払いますって言ったって、もう何もないですメッセージがね。ただ6万円払いますってで、6万円払うから勝手にやれっていう事なんですよ。1日6万円でそれで、とにかく頑張ってくれて、そういうメッセージが欲しいですね。ただ協力金を払いますよっていうだけじゃね」

日下部「国会は相変わらず閉じたままですし、特措法が必要だと言っているけれども、それも2月までしないし、」

太平山酒蔵総本店 高橋幸夫社長（73）「そんなことを決めるよりも、あのどうしたら、どうしたら我々が安心して日常生活を送れるかってことだけ、そういうことをやってほしいですね。」

太平山酒蔵総本店 高橋幸夫社長（73）「法律とか言ったって、それで何もウイルスがなくなるわけでありませんからね。」

ナレ「常連客は」

男性「まあこうなってしまった以上、コロナがおさまるまでは大人しくしてようかなと思います。」

日下部「今日はちょっと飲み納めみたいなの？」

男性「そうですね。はい。」

ナレ「影響は飲食店の仕入先にまで、広がっている。」

（CM）

ナレ「緊急事態宣言は飲食店のみならず、仕入先の業者にも大きな打撃を与えている。」

ナレ「秋田県潟上市にある酒造メーカー。四谷の居酒屋、太平山で取り扱う日本酒は全てここから出荷されている。」

小玉醸造 小玉真一郎社長「えーと、ここは発酵室と言いまして、酒のもろみを作ってる部屋なんですね。ここで約20日から25日発酵させるんですが、これを搾って酒と酒粕に分けるわけですよ。」

ナレ「創業は明治12年。秋田を代表する銘酒、『大平山』を世に送り出した蔵元だが。去年の4月5月の売り上げは、例年の4割近くにまで落ち込んだ。」

ナレ「製造する酒のおよそ3割を、首都圏の飲食店やデパートなどに出荷していると言うが、」

小玉醸造 小玉真一郎社長「53本、ここに発酵タンクあるんですけど、今使ってるのは2本です。コロナの影響で飲食店さんの酒の消費量が著しく減退しましたので、今年仕込む量ってのは、かなり減産しております。」

ナレ「家庭内の消費を増やすため、インターネットでの販売を積極的に行ってきた。」

ナレ「今回の緊急事態宣言では、飲食店の仕入先業者は今のところ補償の対象になっていない。売上が去年のように落ち込めば、会社の存続も危ぶまれるという」

小玉醸造 小玉真一郎社長「飲食店の、へのいわゆる出荷っていうのは、地方のメーカーは、うちもそうですが、非常に依存しているところが大きいんですよね。そこがダウンされるとですね、今までやってきたことがですね、もう一度見直さなきゃいけないのかなということになってしまうような気持ちになりますね。」

ナレ「四谷の居酒屋太平山に、週2回、比内地鶏を出荷しているこの会社。加工した比内地鶏のおよそ9割を首都圏の飲食店などに卸しているが、ここでも同様の不安を抱えている。」

比内どり食品菅生尚美専務「従業員だけでなく、生産者もいることなので、また去年と同じくなるんじゃないかっていうふうに、心配はしてます。」

ナレ「秋田の気候が育んだ比内地鶏は、赤身の多い肉質で、きりたんぼ鍋の材料などにも多く使用されている。しかし飲食店の休業などで、去年の売り上げは40%ダウン。出荷が滞る事態も起きた。」

比内どり食品菅生尚美専務「ほとんどが、フレッシュでの出荷になるんですが、やっぱり在庫が去年はいっぱいあって、生産者にも減羽をお願いしなければいけなくなって・・・」

ナレ「売り上げを伸ばすため、スライスした肉をパックに詰めて個人向けに販売。手作りのチラシをあちこちに配り、売上を増やす努力もしたが・・・」

比内どり食品菅生尚美専務「賞味期限が過ぎてしまったものもあって、売り物にはならないですし、加工品にも使えない状態で・・・150キロぐらいね、廃棄になっています。」

比内どり食品菅生尚美専務「生産者さんが愛情込めて飼育している比内地鶏ですので、それを廃棄するっていうのは、もう断腸の思いですね。」

ナレ「去年会社は、コロナによる業績の悪化で、国から2千万円ほどの緊急融資を受けたという。今後も厳しさを増すことが十分予想される。」

比内どり食品菅生尚美専務「この後、また緊急事態宣言が出されて、どのようになるか、っていうのが、全く想像がつかないので、会社としてもどういう風な出荷計画を立てればいいのかっていうのをすごい、迷います。」

ナレ「飲食店関係にとどまらず、生活苦の深刻化がつづく。」

ナレ「今年の元旦、」

金平「えー1月1日のお昼過ぎですけども、ここ聖イグナチオ教会で、年越し大人食堂と銘打って、生活困窮者のための、食料支援が今行われているところですね。」

ナレ「高齢の男性を中心に、若い男性や、子供連れの女性の姿もあった。併設された生活相談のブースにも。」

金平「結構若い方が、あーいたりすると。それから外国人の方もいたりするという、ことですね。」

支援団体『つくろい東京ファンド』稲葉剛代表理事「これまでなんとか貯金で取り崩しながら生活していた方々も、もう家賃が払えなくなって路上に押し出されてくるという状況になりつつあります。」

ナレ「厚生省アドバイザリーボードのメンバーとして、政府への提言を重ねてきた和田耕司教授に聞いた。」

膳場「2度目の緊急事態宣言が出されましたけれども、この評価はいかがでしょうか？」

国際医療福祉大学 和田耕司教授「できればもう少し早い時期に決断して、早い段階から流行のカーブを曲げておきたかったという風には思っています。12月の中旬くらいから、あのしっかりとした対策をしていく必要があったと思っています。」

ナレ「和田氏は、宣言の効果について強い危機感を抱いている。」

和田氏「4月の緊急事態宣言は比較的、こうやると、みんな、まああの、ステイホームしてくれたりいろんな協力があったので、まあ感染者もある程度みるみる下がってきた感じが得られました。しかしながらもしかしたら今回は、やっぱり、今日の電車の人数、私も電車に乗りましたけれども、電車の人数等を見てもあまり変わっていないと。そうするとやっぱり頑張ってるんだけど、成果がもし見えない時に、やっぱり、やっても意味がないんじゃないかというメッセージが伝わってしまいますと、また減らないんじゃないかなという、そういう危惧をしているところでもあります。」

膳場「切り札として、機能しない可能性というのも、十分ありますよね？」

和田氏「あります。緊急事態宣言今回、本当にその、期待されるような成果は上げない可能性はあるという風な危惧はしています。」

(CM)

膳場「緊急事態宣言の発令は、医療現場の逼迫を受けてのものでした。急増する感染者に保健所の対応は、そして満床目前の重症者病棟は、最前線の取材です。」

男性「薬がないので、悪化している状態の中で、やっぱりどうなっちゃうんだろうなという心配は、ありますね。」

ナレ「東京墨田区の男性は、今週39度近い熱が出て、病院で新型コロナの検査を受けた。火曜に陽性と伝えられた。」

男性「思い当たる節があんまり、なくて」

男性「年末年始もほぼ家にいたので、どこから貰ってきたのかなっていう、感じですね。」

ナレ「平熱近くまで下がったが、妻への家庭内感染が心配で、自宅以外で療養できるか知りたかった。しかし、保健所から一向に連絡が来ないため、自ら電話をかけたところ・・・」

保健所の担当者「ちょっとですね、今かなり感染者数が増えている関係でですね、皆さんに順番にお電話しているのでかなり待っていただいている状態になっていますので、」

男性「自宅にちょっと妻もいるんですけども、ちょっと隔離が難しいんですね。その場合ってどうしたらいいですか？」

保健所の担当者「えっと、まあ、できるだけ接触を控えていただいて、」

新型コロナに感染した男性(20代)「まあ反応としてはすごい事務的な対応と言うか」

新型コロナに感染した男性(20代)「完全に部屋を分けきれているわけではないので、やっぱりちょっと心配かなという風には思いますね。」

ナレ「その後保健所から連絡が来たが」

保健所の担当者「今発生届の数はかなり多いので、皆さんにあの一まず緊急性や、その他今のお具合についてお伺いして、急ぎでこう、今入院の手配をしなきゃいけないかどうかっていうのを、ちょっと確認をしているんですけども。」

ナレ「今濃厚接触者を割り出す調査が行えないほど、保健所が逼迫しているという。」

保健所の担当者「今かなり発生の数多くて、職場とかまでが、なかなか調査入れるのが厳しい状況になってますので。例えばそういった職場だとかでそういった方などがおられた場合には、ご自身で病院にご連絡していただいで予約を取っていただくっていうあの、状況が出てきています。」

ナレ「そして翌日」

保健所の担当者「あの一場合によってはちょっと、宿泊療養できるかどうかというのは、何とも言えない状況なんですよね。今ちょっとかなり、色々なホテルが満杯でして、」

ナレ「ホテルでの療養ができないことが告げられた。そんな中、男性の妻に喉の痛みや咳などの症状が現れ、PCR 検査を受けることに。妻が向かった病院には、次々と感染の疑いがある人が訪れ検査を受けていた。平日の昼間だったが、10人近くが検査を待っていたという。」

新型コロナに感染した男性（20代）「保健所からってということですか？」

ナレ「自宅療養を強いられた男性だが、容態は悪化している。」

新型コロナに感染した男性（20代）「7日の夜に味覚と匂いがなくなって、そこをちょっと（保健所に）伝えようと思ったんですけど、全く電話が繋がらずって感じでしたね。日に日にちょっと悪化しているなっていうのはあるので、やっぱりちょっと怖いですね。急に（容態が）変わった時はどうすればいいのかなって。」

ナレ「東京都は、軽症者向けの宿泊療養施設に、2360床を確保したとしているが、自宅療養となっている患者は、5935人に上っている。」

ナレ「首都圏では医療機関も逼迫している。今週一都三県の病床使用率は、東京都で80%に迫るなど過去最悪の水準に達している。」

ナレ「川崎市で、重症患者を受け入れている聖マリアンナ医大病院でも、事態は深刻だ。」

ナレ「緊急事態宣言が発表された7日、15ある重症患者用のベッドが、埋まるまで残り一床。神奈川県全体でも、重症者病床はあと8床と、追い込まれていた。」

ナレ「現場を取り仕切る森澤健一郎医師がコロナ専用ICU、集中治療室に入っていく。」

救命救急センター 森澤健一郎医師「ここから先が、完全なレッドゾーンになります。この患者さんは人工呼吸器管理がされています。」

ナレ「ビニールのカーテンで囲い、ダクトで中の気圧を下げた仮設の陰圧室。そこで患者は人工呼吸器で命をつないでいる。」

記者「これは年末年始にかけて、（重症患者が）急激に増えたんですか？」

救命救急センター 森澤健一郎医師「本当に、倍々とは言わないですけども、すごいスピードでベッドが埋まってしまって、今までは、その良くなるスピードと入ってくる患者のスピードに、ある程度コントロールがきいたんです。物量で押し切られてちゃっている。そういうフェーズに来ています。」

ナレ「年末年始には患者の死亡が相次いだ。この患者もその一人。人工心肺エクモで一旦症状は回復したが、懸命の治療の甲斐なく亡くなった。感染防止のため、家族と最後の別れはタブレット越しだった。『頑張ったね』『もういいよ』家族はそう呼びかけた。コロナとの戦いを1年近く続けてきた今でも、この病気には分からないことが多い。と、森澤医師は言う」

救命救急センター 森澤健一郎医師「コロナに関して言えば、本当にその、僕らの全力を尽くしても認識しきれない拾い上げられない突然の悪化というのはあって、それは多くの場合、救命しきれない。お若い方でもです。助けられたはずなのに。さっきまでお話しできていたのに。」

ナレ「どうすれば、少しでも多くの命を救えるのか。現場は試行錯誤を重ねている。運ばれてきた患者はまずCT室に入れる。ダイレクトCTと呼ばれる手法だ。」

ナレ「PCR検査では結果が出るのに時間がかかるため、肺のCT画像を取り、コロナへの感染の有無を判定しようというのだ。現場で生まれた工夫の一つだ。」

ナレ「チームを率いるのは、放射線医の松本純一医師。救命救急センターで画像診断を続ける”読影”のスペシャリストだ。」

救命救急センター放射線医 松本純一医師「PCRの結果を待っていられないとかいった時に、もし本当に本物の影があったならば、その段階でCTを撮った段階で、この人はコロナがありそうだって言えると、その先み

んなの患者さんの扱い方がだいぶ違いますので、それを少しでも 5 分でも 10 分でも早くできるって言うのは、やっぱり意味があるのかなっていう。」

ナレ「肺に特有の白い影があれば陽性の可能性が高まる。さらにその陰の状態から症状の重さも分かると言う。」

ナレ「1 年近くにわたり、コロナ患者の CT 画像を見てきたその目が 感染の有無を見極める。」

放射線医の松本純一医師「A です。」

ナレ「判定は A。つまりコロナではない。」

放射線医の松本純一医師「これだけが絶対に、非常に有用なわけではなくて、これと他の検査を合わせることで、精度をどんどん高くしていくことによって、少しも漏らさない。取りこぼしたくない、一例もミスしてすり抜けさせたくない。」

ナレ「実際 PCR 検査では陰性と出たものの、ダイレクト CT でコロナと判定し、その後再検査で感染が確認されたケースもあるという。」

放射線医の松本純一医師「今ちょうどですね、メールが入りまして、とある病院から緊急依頼ということで、」

ナレ「松本医師のチームには、全国の 200 以上の病院から、画像診断の緊急依頼がくる。その全てにボランティアで応じている。」

ナレ「午前 1 時過ぎ、この日の診断を終えた松本医師。向かった先は病院の駐車場に停めた車だった。松本医師はここで夜も仕事を続けている。」

放射線医の松本純一医師「これはまああの仕事をするのもありますし、あの、寝たり暮らすというかですね。」

ナレ「機材は自分で組み上げた。各病院から送られてくる CT 画像を、いつでも見ることができる深夜でも移動先でも、画像が送られて来ればすぐに診断する。」

放射線医の松本純一医師「これを倒して、フルフラットではないですけど、今日は本当に」

記者「あっ、ちょっと・・・」

ナレ「松本医師は、感染拡大以降、ほぼここで寝泊まりしながら画像診断を続けている。原動力になっているのはコロナ専用 ICU の中で昼夜を問わず患者と向き合う同僚の姿だという。」

放射線医の松本純一医師「まあ壁の向こう、ガラスの向こうですけど、そういう頑張っている人がいるから、だと思っんですね。目の前に患者さんがいて、患者さんのご家族が行けと言う、前線には自分はいれない立場、グリーンゾーンにいる立場で、これもまたこう、なんていうの負い目を感じる立場ではありますけども、我々ができることは画像しかなかったの、それで何か貢献できることがあれば、とにかくやらせていただきたい。」

ナレ「そのコロナ専用 ICU。満床まで残り 1 床となっていた 7 日昼、危惧していたことが起きた。」

医師「ドクターカーが空いていたら、それは、」

医師「ドクターカーは空いています。迎えには OK です」

医師「それは行こう」

医師「病棟のスケジュール感と、早い方がいいんだったら早く行こう。」

ナレ「森澤医師がドクターカーに乗り込む。市内の別の病院から入院患者が重症化し、対応できなくなった、と受け入れ要請が入ったのだ。これで重症者病床はついに満床になる。」

森澤医師「あと 1 床だからといって、その、今の患者さんに不利益があっちゃいけないわけですから。それは当然受け入れます。ただ心配なのは次の患者さんですよ。額面上はもう受け入れられないわけですから、」

ナレ「満床を受け、病院では臨時のコロナ病床を作った。ただそこでは重症患者を見ることはできない。設備も医療スタッフも十分ではないからだ。」

森澤医師「認めたくはないですが、かなり追い込まれていますね。ただここで白旗を揚げるわけにいかないの、

また何か工夫をひねり出します。少なくとも目の前にいる人、というかこの地域の人たちだけは、守り抜きたいと思いますね。」

(CM)

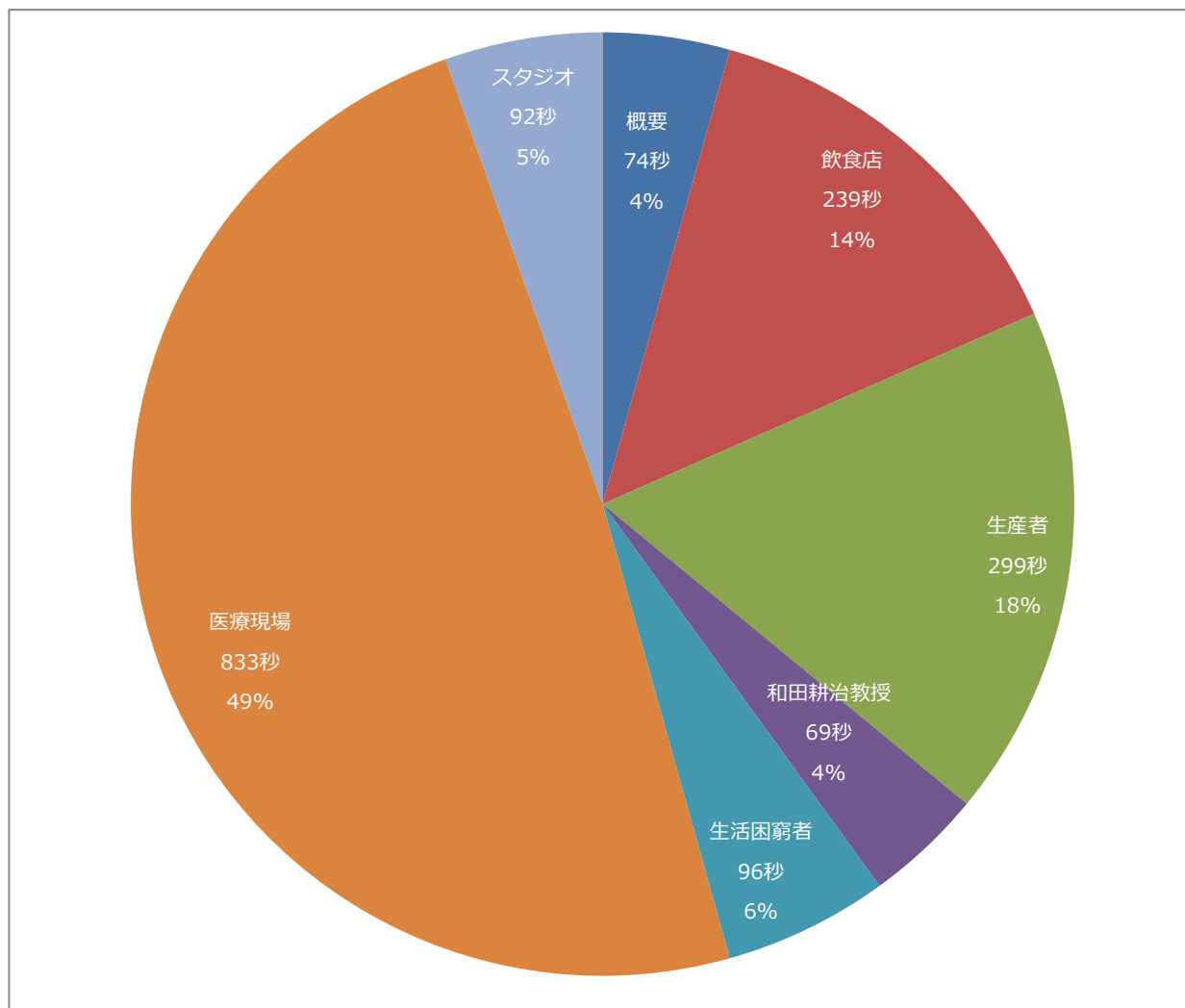
VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

膳場「後手後手の 政策が打ち出される中、 患者を守る最後の砦は、こうして守られた。そしていつまで守り切れるかも、もうわからない。 ということを改めて突きつけられました。言葉がないです。でお話を伺った専門家は、今回の非常事態宣言について、閉店を 10 時から 8 時にすることで、人々の行動がどう変わるのか、というデータは分析されていないと思う。と指摘しておりました。その上でこの緊急事態宣言を、祈りながら解除を待つのではなくて、データを取る期間に当てて、分析していかないといけないとおっしゃっていました。」

日下部「今私たちの周りではね、コロナ疲れとか、慣れという言葉が飛び交っているんですけども、 VTR でご覧いただいたように、医療現場ではですね、慣れと言った言葉など、飛び交う余地がないほど逼迫している。せめてこの事実だけは、私たち忘れてはいけないと思いますよね。」

金平「逼迫する医療現場と並んで、緊急事態宣言で生活困窮者っていうのはどうなるのかと言うのがとても心配ですけども、あの私取材行った大人食堂の運営していたですね、NPO 法人の人たちがですね、行政に対して、ネットカフェをすぐに閉めないで下さいと具体的な提言をしたんですね。そしたらそれを行政が受け入れたってことがあって、あのとてもそういうところにひとつ入りの希望を感じましたですね。」

この特集に当てられた時間は 1702 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

・【特集】台湾の IT 担当大臣独占インタビュー：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「さて続いての特集は日下部さんの取材です。」とのコメント、日下部キャスターの「感染拡大のペース、医療体制に逼迫、今や日本は東アジアで最も危機的状況にあります、一方世界で最もコロナ対策に成功しているのが台湾です。どうしてこんなに差がついてしまったのでしょうか、閣僚として最前線で指揮にあたってきたオードリー・タンさんが報道特集のインタビューにこたえました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような特集の VTR が取り上げあげられていた。

"ナレ「去年の大晦日の台湾、人気アーティストによるカウントダウンコンサートが開かれた。会場を埋め尽くす 7 万人の観客、新型コロナの抑え込みに成功している台湾では水分補給以外の飲食禁止や主催者側が参加者全員の連絡先などを把握すると言った条件を満たせば、こうした大規模イベントでも開催できるようになっている。出勤ラッシュの風景はコロナ前とあまり変わらない、マスクを外して歩く人も目立つ。観光客らしき姿はないが日常をほぼ取り戻しつつある。」

台湾人「海外旅行にずっと行きたいと思っているけど、なかなかいけないわ」

ナレ「徹底した水際対策により市中感染が確認されたのはこの 9 ヶ月でわずか 1 例だけだ。セカイイチのコロナ対策とも評価される台湾、キーパーソンのオードリー・タン IT 担当大臣が報道特集の単独インタビューに答えた。」

日下部正樹「ハロー、オードリー。」

オードリー・タン IT 担当大臣「ハロー」

(CM)

"ナレ「虹色のマスクを付けて現れたのは台湾の IT 担当大臣オードリー・タンさん 39 歳、新型コロナ対策を成功に導いた立役者だ。オードリーさんが報道特集の単独インタビューに応じた、自分の役割をインターネット界から来た大使のようなものと、話す。」

オードリー「わたしは政府、閣僚とともに政治をしています、政府や閣僚のために働いているわけではありません、このインタビューも公共物なので使用料無しで使ってもらっても構いません、私のビジョンは公の場でやっていること全てを提供することなのです。」

ナレ「オードリーさんの技術チームは新型コロナが流行し始めた去年 2 月にマスクの在庫を可視化するアプリをお開発、在庫の亮を見せが色分けされていて各店舗の在庫数を確認できる、こうして誰でもマスクを変える体制を整えた、デマの撲滅にも取り組んだ。」

オードリー「デマの拡散を封じるにはユーモアが重要です。」

"ナレ「トイレットペーパーなどがなくなるとのデマが流れた時に作ったポスター。タイトルはみんなお尻は一つだけ、使う量は変わらないのでデマを信じて買い占めないようにデマを信じて買い占めないようにとのメッセージだ。」

オードリー「我々のデマ対策戦略は『うわさよりユーモアを』です。」

ナレ「このポスターが功を奏し大きな混乱は起きなかったという。オードリーさんは異色の経歴を持つ、8 歳から独学でプログラミングを学び、15 歳で開発した検索ソフトは全世界でおよそ 800 万セット売れた。付いたあだ名は『電脳神童』、19 歳のときにアメリカシリコンバレーで企業、アップル社で人工知能 Siri の開発にも取り組んだ。天才プログラマーとして名が知れ渡る中 5 年前に新設された IT 担当大臣のポストに抜擢、35 歳で台湾史上最年少の閣僚となった、アメリカの有力紙から世界の頭脳 100 人に選ばれるなど知の巨人として注目を集めて

いる、また、オードリーさんは 10 代で男性、20 代で女性の思春期を迎えたと公言している。世界初のトランスジェンダー閣僚だ。台湾にはアジアで初めて同性婚が法制化されるなど多様性を尊重する社会が築かれている、オードリーさんはそんな台湾の多様性を尊重する存在でもある。」

オードリー「これは新しい ID カードのサンプルです、書かれているのは名前、ID ナンバー、誕生日です。性別に関しては一切書かれていません。台湾はゆっくりとポストジェンダー社会に移行しつつあるんです。」

ナレ「台湾のコロナ制圧の秘訣とは。」

"オードリー「丁寧に説明してキャンペーンを行いました、自分の手から顔を守るためにマスクをしましょう、自分のためになる行動なんです、と。」

ナレ「台湾では感染が確認される前からマスク増産のために奔走、今では世界有数のマスク生産地だ。個人の権利、私権を大きく制限する対策もとっている、海外からの渡航者はバスで自宅や隔離場所へと送られ 14 日間隔離、違反者には罰金もある、こうした厳しい措置を受け入れられた背景には透明性と情報公開を重視した政府の姿勢だ。先週当局が公開した台湾の感染対策を紹介するドキュメンタリーでは。」

ドキュメンタリー「メディアなどを通して正確な情報を通じて市民らも政府の一つ一つの願いを聞いてくれた。社会全体が共通認識を持って対処したことであまりうまく言った。」

ナレ「情報は原則公開すべきとしていた対策本部は毎日会見を開き、時間制限を設けず、記者の質問に答え続けた、毎日会見で陳本部長の顔を見ないと、安心して眠れない、と話す市民が多かったという。また、新型コロナ専用のホットラインを開設し、直接市民の解消に努めた、中にはこんな問い合わせも。」

オードリー「男の子が『クラスメートの男子は全員青いマスクを付けているけど、自分はピンクのマスクしか手に入らなかった、色を選べるようにしてほしい。自分だけがピンクをつけているのは嫌だから学校に行きたくない』と言ったんです。この電話があった翌日の会見、陳本部長らはピンクのマスクを付けて登場した。」

陳時中（新型コロナ対策本部長）「子どもたちに伝えたいのはマスクの色は何色でも同じです。男女も関係ないんです、ピンクも悪くないですよ、私が子供の頃に最も好きだったのはアニメのピンクパンサーでした。」

"ナレ「こうした誠実な対応が政府への信頼をうみ、市民の協力を得られたことで感染を抑え込めたのだという、」

オードリー「市民の誰もが政府のメッセージの重要性を初期段階から理解してくれました。台湾ではロックダウンをせずにコロナ対策に成功し、小売業や飲食業がプラス成長することができたのです。台湾モデルは世界の模範となれるかもしれません。」

ナレ「台湾政府が透明性を重視するようになったきっかけの一つが 7 年前のひまわり学生運動だ。中国との融和路線をとっていた当時の政権与党が中国との市場開放に関する協定について公に議論しないまま強行採決、それに怒った学生たちが議場に突入し三週間に渡り選挙する事態となった。オードリーさんは議場の様子は共有されるべきだとインターネットの接続環境を提供していた。議場では学生たちと複数の NGO たちがオンラインなどで協定について議論し、要望書を作った。」

オードリー「該当に 50 万人が出て、さらに多くの人々が 20 以上の NGO とともにオンライン上で参加しました。NGO の多くは高齢者が率いているんです 90 代の方もね、ですから世代を超えた団結だったと思います。」

ナレ「これ以降、台湾では透明性を打ち出さなければ市民の支持を得られない雰囲気が生まれたという。」

オードリー「政府側が何を理解できれば市民が政治に積極的に参加します、政策構想の初期段階での議論が理解できるのでしばしば市民から大臣よりも優れたアイデアが出てきます、市民本位の政策づくりは常に国家の透明性にも繋がります。」

ナレ「台湾は抑え込みに成功した理由の一つに 18 年前のサーズの苦い経験がある、当時 73 人の犠牲者を出してしまった教訓から法律や医療体制の準備などを行ってきたのだ。技術開発にも力を入れている、去年 5 月には独

自に短時間で新型コロナウイルスの検査ができるシステムを開発、口や鼻から採取した検体を試験管に入れ、開発した危機にかけることで1時間ほどで感染の有無が判断できるという。だが、こうした台湾のノウハウは各国に中々教諭されなかった、中国政府の反対により5年前からWHO世界保健機構への加盟どころかオブザーバー参加すら認められていないのだ。」

オードリー「世界は10日間は遅れを取りました、台湾はWHOの10日前に対応していたからです。」

ナレ「WHOが肺炎を引き起こす未知のウイルスがあると発表したのは去年の1月7日、だが台湾はいち早くウイルスの情報を掴んでいた。一昨年12月31日には中国武漢からの直行便の検疫を始めていたのだ。」

オードリー「もっと早く各国政府と話していれば何人かの大臣を説得できたかもしれません、その国の科学者と話をしても政府を動かせるわけではありませんから、チャンスを逃して残念です。」

ナレ「中国との関係の難しさが顕になった場面もあった、封鎖された武漢から台湾人を保護しようとしたが中国当局が中々許可を出さなかったのだ、封鎖後の武漢から初めて市民が帰還した時の会見。感染者が一人確認されたことについて陳本部長は。」

陳時中「今回の重要な目的は医療環境のよくない武漢から患者を連れ帰ること、その尊い命が失われてしまうかもしれないからです。私たちの医療システムで最大限の力を尽くして彼を助けたい。」

ナレ「感染する前に連れ戻せなかったことに責任を感じ、涙した。今、激しさを増す米中の対立、台湾にも大きな影響を与えるがオードリーさんは。」

オードリー「対立は必ずしも悪いものではないと思っています、対立はイノベーションや新しいアイディアの価値を人々に気付かせることになりますから、競争からイノベーションが生まれ、良い結果を生み出すかもしれません。」

日下部正樹「トランプ政権の対台湾政策を非常に支持する声もあると思うんですけども、それが今度バイデン政権に代わるということで重点が中国大陆の方に移ってしまうんじゃないか、というそういった懸念というものはないのでしょうか。」

オードリー「個人的には大丈夫だと思います、バイデン政権の発想は民主主義国家を対等に結束させようとするものです、台湾にはバイデン政権ともトランプ政権とも民主主義などの多くの共通の価値観があります。我々はなかなかいい立ち位置にいると思っています。」

日下部正樹「本当に長い時間ありがとうございました。私たちにこれだけは言っておきたいなということがあれば、」

オードリー「では、いつもやっているご挨拶を、長寿と繁栄を。」

特集のVTRを受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されていた。

膳場貴子「あの第一波が来た時、初動から台湾は政治家の言葉に血が通っていましたが、ITデータを活用した細やかな対策を積み上げていて見習うべきだと言われて来ましたよね、あれから一年弱がたって第三波を迎えている今、台湾と日本とでここまでの差が生まれてしまったのかとまあショックですし、なによりも愕然としてしまいますよね。」

日下部正樹「そうですね水際対策に成功した台湾と失敗してしまった日本、次元が今や全く違うので台湾を真似ようとしても我々にはもうできないんですね、ただその台湾もサーズの失敗から多くを学んだ上で台湾のリーダーの中には医療や感染症の専門家が多いこのことがですね、迅速かつ具体的な対策につながったとも言えると思いますね。」

金平茂紀「あのね、VTRにもあった台湾のコロナ対策本部の記者会見の有り様を見ていてですね、今更ながら気付かされたんですけども、透明性と情報公開という原則に忠実な台湾政府の在り方ですね。それに比べると

ですよ、日本の当局の行政の記者会見の有り様ですよ、例えば首相記者会見なんていうのを見るとですね時間を制限して参加者を制限して、お一人様一問でお願いしますですかね、再質問はダメだとかですね、なんでこんなに違うんだろうかという、この事自体が以上だということをおね、改めてこれを見て気付かされて、その透明性と情報公開を重視するから結局政府への信頼を国民が育むことが出来るんだということをおね、官邸の報道官とかはですねちゃんとこれを見て、学んで欲しい、という風に、台湾から学んで欲しい、と思います、勿論僕らメディアの側の心構えもそうですけれどもね。」

日下部正樹「あの、お二人に聞きたいんですけども仮に日本にオードリー・タンさんのような人材がいてね、これ活かせるんですかね。」

膳場貴子「ぜひ登用して欲しいと思うんですけども、どうだろうね日本って年配者が多いですからね、政治家に。」

金平茂紀「日本はね、残念ながら異端を弾くというそういうなんかこう、そういう性格がずっと染み付いているみたいで、土壌がね。」

日下部正樹「台湾はやっぱり中国に対抗する意味もあって民主化とともにですね、多様性というものを重視している、その台湾も 40 年ほど前まで戒厳令下にあったんですからね、ですから日本にもできないことはないと思います。」

この特集に当てられた時間は 936 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・コロナ感染者と死亡者：結論→特に問題なし

膳場キャスターから「ニュースです、新型コロナウイルスに感染して死亡した人の数が今日国内で 4000 人を超えました、急激なペースで死者が増え、わずか 18 日の間におよそ 1000 人がなくなっています、国内では今日これまでに全国で新たに 39 人の死亡が発表されましたこれで累計の死者数は 4005 人となり、先月 22 日に 3000 人を超えてからわずか 18 日の間におよそ 1000 人がなくなっています。また、現在入院している感染者のうち、重症者の数も全国で 827 人と過去最多を更新しました。一方今日これまでに発表された全国の新たな感染者は JNN のまとめで 7000 人を超えています、東京で 3 日連続 2000 人を超えたほか、神奈川、兵庫、静岡など 7 県で過去最多の発表が相次いでいます。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 57 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・オープニング：結論→特に問題なし

金平キャスターが「世界の中でもコロナ対策がかなりうまく言っているのは台湾です、台湾の IT 大臣オードリー・タン氏は私たちが見慣れているあの日本のリーダーたちとは違って明晰かつ柔軟な判断力を示してくれています。日下部キャスターの単独インタビュー、特集でお伝えします。緊急事態宣言の意味を考えるヒントにもなります、ぜひご覧ください。」とのコメントからは、日本のリーダーには「明晰かつ柔軟な判断力」がないような印象を受けるが、そうであれば様々なことを政府・リーダーに要求するのではなくむしろ政府には余計なことをしないよう求め、私たち一人ひとりの自己決定権を拡張し各々が生き残りを図っていったほうが合理的では

ないだろうか。

・【特集】台湾の IT 担当大臣独占インタビュー

特集の VTR を受けてスタジオで金平キャスターが「あのね、VTR にもあった台湾のコロナ対策本部の記者会見の有り様を見ていてですね、今更ながら気付かされたんですけど、透明性と情報公開という原則に忠実な台湾政府の在り方ですよ。それに比べるとですよ、日本の当局の行政の記者会見の有り様ですよ、例えば首相記者会見なんていうのを見るとですね時間を制限して参加者を制限して、お一人様一問でお願いしますととかね、再質問はダメだとかですね、なんでこんなに違うんだらうかという、この事自体が以上だということ、改めてこれを見て気付かされて、その透明性と情報公開を重視するから結局政府への信頼を国民が育むことが出来るんだということに気付かされた、官邸の報道官とかはですねちゃんとこれを見て、学んで欲しい、という風に、台湾から学んで欲しい、と思います、勿論僕らメディアの側の心構えもそうですけれどもね。」とコメントしていたが、まさしくその通りだと思う。

政府の情報提供の在り方に問題があるのはその通りであるが、他方で、この報道特集にしてもコロナ感染者についての報道は別のトピックで膳場キャスターが「新型コロナウイルスに感染して死亡した人の数が今日国内で 4000 人を超えました、急激なペースで死者が増え、わずか 18 日の間におよそ 1000 人がなくなっています、国内では今日これまでに全国で新たに 39 人の死亡が発表されましたこれで累計の死者数は 4005 人となり、先月 22 日に 3000 人を超えてからわずか 18 日の間におよそ 1000 人がなくなっています。また、現在入院している感染者のうち、重症者の数も全国で 827 人と過去最多を更新しました。一方今日これまでに発表された全国の新たな感染者は JNN のまとめで 7000 人を超えています、東京で 3 日連続 2000 人を超えたほか、神奈川、兵庫、静岡など 7 県で過去最多の発表が相次いでいます。」と伝えていたが、重症者の推移にしても重症患者から回復した人が何人で、新規感染者が何人で、死亡者が何人で結果として対前日で何人増えたのか、という大事な情報が抜け落ちており、情報提供としては褒められたものではない。

こうした政府や地方公共団体の発信やメディアの報じ方を見ていると、コロナについて詳しく正確に国民に伝えることを避けているような印象を受ける。

例えば重症患者から回復に向かう人よりも時間を掛けて死亡に向かう人が圧倒的に多いとか、その傾向も年代によってばらつきがある、という話であればそうしたことを国民に伝えることで、国民側が「コロナ感染拡大防止に協力しよう、そのために自粛・我慢しよう」という国民世論から「回復の見込みのない人を抱えることが医療逼迫の原因なら、そうした人を受け入れるのをやめれば」というように変わる可能性だってあり得るだろう、そうしたことを恐れているのではないか。コロナについて正確な情報が伝えられていないので実際の所どうなのかはわからないが、報道などを見ていると、そうした印象を受けてしまう。